

フィールド風

(現場)からの

宮田守男

今日から5月16日までの一週間は、野鳥保護の運動を行う愛鳥週間。幕末の福井藩の歌人が「たのしみは朝おきいでて昨日まで無かりし花の咲ける

見るとき」と「独乗吟」の中で詠んだ一首だ。52首すべてが「乗しみは…」で始まるが、穏やかな生活の中にある野鳥を観察しながら、野鳥たちが安心して暮らせる環境を守っていく大切さを考える良き機会でもある。

1900年の今日、嘉仁親王(のちの大正天皇)と九条節子さん(貞明皇后)の結婚式が行われた日だ。式典を祝してサンフランシスコ駐在日本人会から電気式自動車

し、自動車は献上されることなくお蔵入りだ。この一件が、警視庁の「自動車事故第一号」の記録に残っている。空飛ぶ自動車が当り前の時代まで健康でと思う毎日だ。

リースからワインの供給過剰でブドウの木を大量伐採との情報に驚く。ワインに需要と供給の問題が発生し、生産量が多すぎてオーストラリアでは2023年の時点で生産量の2

年分に相当する量のワインが貯蔵され、販売前に腐ってしまう状況のようだ。この10年で飲酒量が減少しているとの情報だ。日本でもお花見や歓送迎会とお酒を飲む機会が多い時期だが、

主に1990年代後半から2010年前半に生まれた「Z世代」と呼ばれる若い世代を中心に、お酒を飲まない「あえて飲まない・ソバキュリアス」の人数が増えている。飲料メーカー担当者

あえて飲まない若者とどんな社会が築かれるのだろうか

は「Z世代・ミレニアム世代は、タイムパフォーマンスを重視したライフスタイルに変化し、やりたいことがたくさんありすぎる。夜、飲んでいる場合ではない」と分析して、タイムパフォーマンスを重視した若者層の獲得を狙っている。「ワンカン」という言葉で定着す

る、日本で短い時間に相手とその日の出来事を共有する時間があればとする年代と、どの様な共通意識が持っているのかと不安になる。懇親会を計画したところ「残業扱いになるのですか」との考えは若



地域内の水路などの維持管理がボランティア作業では不可能になると危惧される

者には当たり前の考え方なのだろう。「現代人が一日に触れる情報は、江戸時代の1年分、平安時代の1生分」と言われるが、増々情報スピードについていけない年齢になったと思う日々が現実だ。(信州地域社会フォーラム会員・白馬村森上)